

「作品が出来るたびに うちに持っていらっしやいよ」

突然現れた青年「相田みつを」。作品がまったく売れない話。そして彼の作品に対する想いと夢の話聞いた旅館なか川初代女将の中川光子は、「いいのができたらみんな持っておいで。買ってあげるから。」とやさしく声を掛けました。こうしてなか川は、相田みつを先生の初めてのお客さんとなったのです。



▲中川光子

「みつを…遠慮しないで、ご飯もいつでも食べにおいでよ」



▲一番人気の「相田みつをオススメ御膳」



▲甘露煮の入ったにしんそば。

なか川以外ではなかなか作品を買ってもらえず、生活に困っていた事情を知った光子がかけた言葉です。

この一言から、相田みつを先生は毎日のようにご飯を食べになか川に来るようになりました。先生が一番好んだ料理は「甘露煮」。今でも「相田みつをオススメ御膳」として先生が好んだ料理をご用意しています。もちろん、一番人気です。

「お酒は1日1本までだよ」

光子と相田みつを先生との約束。それは、お酒は、1日1本まで。みつを先生は、なか川の甘露煮をつまみに、おいしそうにお酒を飲んでいました。現在も変わらず、先生がよく飲んでいました。先生が好きな銘柄のビールを飲むことができます。



▲相田みつを

「看板を作ろうかと考えているんだよ！ 旅館なか川のデザインしてみるかい？」

光子のこの言葉でなか川の看板を製作。その後、デザイナーとしての仕事を始め「香雲堂本店」「虎谷」の包装紙などを作る。「へえ～上手なもんだね～、それなら看板だけでなく、次はうちの旅館の各部屋に飾る部屋札や箸袋に、マッチ箱なんかもいいね～、各部屋にちなんだ作品なんかでもデザインしなよ！」こうしてなか川は、相田みつを先生の奇妙な字があちこちに存在する旅館になったのです。今でも、先生がデザインした看板やおもて、マッチ箱など多くの作品がお店で使われています。

店内のご案内。みつを先生のいつもの席。



先生がいつも座る席がある。紅葉の間 (2F)



めん割烹なか川になってからも相田みつを先生はよく来て頂きました。紅葉の間には先生のいつもの席が当時のままに残っており、その席で料理を味わうこともできます。そして今でも旅館なか川の面影を残した部屋が残っています。2階の大広間「松竹」、1階の「風の間」、「紅葉の間」は、個室となっており、宴会や七五三、法事などに人気があり県外のお客様からも予約をいただいています。もちろん、1名様からなか川で料理を楽しむこともできます。

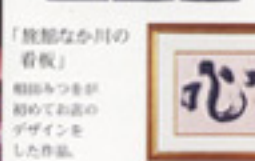


ここにしかない相田みつをの原点の数々。

今でも100点以上の作品がめん割烹なか川にございます。このような経緯で、当店は、日本で一番相田みつを先生の作品を個人で所有しているお店となったのです。



「一生勉強、一生青春」
なか川3代目の旗が
変遷を時代に残した作品。



「心」
なか川3代目が贈った
たよきのお札に
書きました。相田みつ
を公式ケータイサイト
でも使われています。

ご挨拶



「旅館なか川」は、「めん割烹なか川」として私で4代目となりました。私自身も相田みつを先生とは18年間、生まれた時からお世話になりました。なか川4代目語り継がれている先生との物語。そして、私自身の先生との思い出を、ご来店いただいたお客様に尋ねられ、毎日のようにお話ししています。相田みつを美術館へは、企画展ごとに所有の作品を貸し出しております。そして、まだなか川以外に出したことの無い「未発表作品」も店内に展示をしておりますので、お食事と共に楽しみください。若き日の先生が、何を考え、何を思いながら書き続けたのか？当店では、そんな先生の気持ちを、感じ取ることでできる唯一のお店です。ぜひお越しください。

めん割烹なか川 4代目 中川加彦

相田一人館長からのメッセージ

「相田みつをの食べた料理を楽しみながら
本物の作品が鑑賞できる日本唯一のお店です。」

(相田みつを美術館 館長 相田一人)



相田みつをとなか川4代の年表

- 昭和20年 旅館なか川 創業
- 昭和20年頃 相田みつを、旅館なか川を訪れ、約50年の交際がはじまる。
- 昭和27年 相田みつを、光子の叔父(3代目)、治丸、舟子の家庭教師をする。
- 昭和30年 現相田みつを美術館館長、相田みつを長男の一人氏誕生。あまりの嬉しさのため、「一人誕生の歌」を書いた2枚写真をなか川に持ち込む。
- 昭和34年 初代光子が、相田みつをに1回目のアトリエをプレゼントする。
- 昭和37年 初代光子が亡くなる。相田みつをが専業主婦となる。
- 昭和41年 「母から意思を継いでいる」と、なか川2代目、在一郎が、2回目のアトリエをプレゼントする。
- 昭和47年 三代目幸彦が結婚。結婚のお祝いに「心」という作品をプレゼントされる。
- 昭和59年 旅館なか川から、めん割烹なか川へ、「ここが私の出発点だから、わたしの一番のお気に入りをもってきた」と「心」という作品を贈り祝いで頂く。
- 平成3年 12月17日、相田みつを、足利市内の病院で永眠、享年67歳。
- 平成8年 東京銀座に相田みつを美術館が開館。作品の貸し出しを企画展ごとに行う。
- 平成15年 相田みつを美術館が東京国際フォーラムへ移転。
- 平成16年 テレビ朝日「にんげんだも」相田みつを物語」が放送。
めん割烹なか川もその舞台として、主演の木野恵武さんなどが撮影に訪れる。旅館として物語にも登場。

つづきは、なか川公式ケータイサイトへ

相田みつを先生となか川との数多くの物語は、この経緯だけでは、語りつくせません。めん割烹なか川のケータイサイトで続きをお話します。

なか川公式携帯サイト

<http://katy.jp/nakagawa/>

